



～ 未来を創る人づくり ～

平成29年度 安芸太田中学校 学校評価

コミュニティ・スクール安芸太田中学校 一年間の歩みを振り返って 第3回 安芸太田中学校 学校運営協議会

2月28日、第3回学校運営協議会が開催され、コミュニティ・スクールとしての安芸太田中学校の一年間の教育活動の成果と課題、平成30年度へ向けた教育活動の内容や発展を主な議題として協議されました。

教育活動の成果

<学校評価最終報告より>

教育活動の成果については、学力実態や生徒・保護者の学校評価アンケート等の結果をもとに、安芸太田中学校において自己評価したものです。

目 標	評価項目及び評価方法	評価基準	評価	達成状況
学びを生き方につなぐ授業の創造	基礎的・基本的な知識・技能・活用の定着 ①広島県「基礎・基本」定着状況調査 ②全国学力学習状況調査 ③標準学力調査 ※校内目標値の達成度	A: 80%以上 B: 60~80% C: 60%以下	B	標準学力調査 62.5% (全国平均64.0%) 全体的には全国平均との差が縮まり、改善が見られる。数学・英語は、依然較差があり、効果的な改善対策が課題である。
	深い学びを引き出す授業 (わかる・できるの実感) ①自主学習の実施率 (課題提出率等) ②家庭学習時間 (学年目標達成率等) ③授業評価アンケート (生徒) ※『授業がわかる』『学ぶ意義理解』への肯定的評価	A: 80%以上 B: 60~80% C: 60%以下	B	自主学習実施率 71.4% (77.1%) 家庭学習時間目標達成率 70.2% (73.7%) 生徒アンケート「学ぶ意義理解」82.5% (71.9%)
自ら考え、実行する力の育成	生き方について考えることのできる授業づくり <自分の未来像を語る生徒> ①生徒アンケート ※『授業を通して生き方について考える』の肯定的評価	A: 80%以上 B: 60~80% C: 60%以下	B	生徒アンケート 「授業を通して生き方について考えることがある」71.9% (71.9%)
	自らの成長が実感できることへの実践・態度の育成 <自分の可能性を伸ばす挑戦心> ①各種検定・コンクールへの挑戦 ※1人3つ以上の検定または作品コンクール等応募	A: 45人以上 B: 30人以上 C: 20人以下	B	検定・コンクール等3つ以上応募生徒数 36名 検定受検者 漢字 20名 (合格13名, 内準2級1名) 英語 55名 (合格24名, 内3級4名) 数学・歴史15名 作品応募 ほぼ全員応募 内県レベル表彰者10名 体力優秀賞 5名 (内、特に優秀 3名)
社会へ貢献する力の育成	目標達成の意欲・実践態度の育成 ① i-check・生徒・保護者アンケート ※自己有用感・自己肯定感・自己存在感への肯定的評価 ※挑戦・感動・感謝・貢献への肯定的評価	A: 80%以上 B: 60~80% C: 60%以下	B	生徒アンケート 「自己有用感・自己肯定感・自己存在感」77.2% (61.4%) 「挑戦・感動・感謝・貢献」80.7% (73.6%) 不登校 0件 (H30.2.28現在)
	地域貢献意欲と態度の育成 <地域との協働的な教育活動の実施> ① 生徒・保護者アンケート等 ※「地域公開」「ボランティア・地域活動等参加」への肯定的評価	A: 80%以上 B: 60~80% C: 60%以下	A	生徒アンケート 「地域貢献への意欲や態度」80.7% (70%) 保護者アンケート 「ボランティア・地域活動等参加」89.4% (84%)
信頼される学校の確立	学校の公開性の向上 ①保護者・地域アンケート ※「地域公開・授業公開」「ホームページ・学校通信・学級通信」への肯定的評価 ※学校教育への満足度	A: 80%以上 B: 60~80% C: 60%以下	A	保護者アンケート 「地域公開・授業公開」93.8% (84.3%) 「学校通信・ホームページ」95.8% (94.1%) 「学校に対する満足度」88.5% (82.9%)
	教育公務員として責任ある意識・態度の育成 <教職員として信頼性・不祥事根絶> ①不祥事防止委員会・研修実施率 ②不祥事防止推進への教職員の意識 ③不祥事・服務違反発生…0件	A: 80%以上 B: 60~80% C: 60%以下	A	不祥事防止研修は計画通り実施し、内容も職員企画となり、不祥事根絶への職員の意識・主体性が確立してきている。 不祥事・服務違反 0件 (H30.2.28現在)

() 内の%の数字は、中間評価時の数値です。

評価規準 A・B・Cについて

- A 評価規準を大きく超え、十分な成果が出ている。
- B 評価規準を上回っていないが、概ね標準的な結果である。
- C 学校目標を下回り、満足な結果が出ていない。

評価規準を大きく超えないものの、中間評価(11月実施)に比較し、今回の評価では、ほとんどの項目で改善が見られました。学力面も依然問題点も多くありますが、全国平均・県平均との差が縮まってきています。

より組織的に、かつ教師の責務として学力課題に取り組み、実体的改善を図ってまいります。

安芸太田中学校 一年目の総合評価は

B

統合して、1年。学びを生き方につなぐ教育の創造を目指し、安芸太田中学校としての特色づくりに取り組んだ結果は?!

地域社会への貢献心、地域を元気にする人材になりたいという意識や態度は、ずいぶん育ってきています。挑戦心や自立心をもっと伸ばしていく取組、そして最も大きな課題として学力の向上への取組の必要性が議論されました。現在、学校では、特に課題の大きい数学・英語について、習熟度別少人数指導など個別の課題に対応する取組を行っています。

平成29年度 安芸太田中学校の教育活動への保護者・生徒の評価

A：よくあてはまる B：だいたいあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない
 < AとBの合計…肯定的評価, CとDの合計…否定的評価として集計 >

(最終学校評価アンケート<2月実施>…保護者回答の集計)

No	アンケート項目	肯定的	前回比較	否定的
1	子どもは 学校へ行くことを楽しみに している。	78	↑ 4	22
2	全体として、生徒一人一人に学習内容を理解させるような分かりやすい授業である。	77	- 1	23
3	生徒に 家庭学習の習慣 をつける指導に取り組んでいる。	83	↑ 3	17
4	生徒や保護者にテストや学力調査等の結果、教科の成績について分かりやすく伝えている。	90	- 2	10
5	保護者へ進路に関する情報を分かりやすく伝えている。	79	- 1	21
6	いじめや体罰・セクハラなどなく、安心して通うことができるための取組を行っている。	92	- 2	8
7	地域行事への参加等の体験活動は、生徒の 挑戦心や社会貢献意欲 を育むことにつながっている。	90	↑ 6	10
8	地域活動への参加やボランティア活動の実施は、 地域から評価 を得ている。	89	↑ 15	11
9	生徒の生活習慣(三時刻固定など)が育つような指導に取り組んでいる。	81	- 1	19
10	学校の 施設設備 は整っている。	85	↓ -5	15
11	通学は安全にできている。	92	- 2	8
12	学校通信やホームページなどで学校の取組や生徒の様子について分かりやすく伝えている。	96	- 2	4
13	授業参観や保護者・地域住民参加の行事などを行い、様子のわかりやすい 開かれた学校づくり に取り組んでいる。	94	↑ 10	6
14	学校は子どもや保護者の悩みや相談に適切に対応してくれる。	88	↑ 10	12
15	「なぜ学ぶのか」 を理解させ、学びと生徒の生き方がつながる教育を行っている。	87	↑ 13	13

平均 87 ↑ 4 13

保護者満足度 ⇒ 87%!!(4ポイントアップ)

(最終学校評価アンケート<2月実施>…生徒回答の集計)

No	アンケート項目	肯定的	前回比較	否定的
1	「3点固定」を実行している。 (朝起きる時刻、家庭学習を始める時刻、寝る時刻を決めて、それらの時間を守っている。)	72	↑ 4	28
2	自分にはよいところがあると思う。(自己肯定感)	84	↑ 21	16
3	自分のよさが周りに認められていると思う。(自己存在感)	70	↑ 10	30
4	何か 挑戦 していることがある。	83	- 1	17
5	日ごろの生活の中で 感動 することがある。	67	↑ 11	33
6	感謝 の気持ちをもって生活をしている。	93	↑ 9	7
7	学級・学校・地域の活動に 貢献 している。(地域貢献の意欲・態度)	81	↑ 11	19
8	先生は、授業を通してなぜ学ぶのか教えてくれている。(学ぶ意義の理解)	83	↑ 11	17
9	悩みや困っていることなど、 相談できる先生 がいる。(信頼関係)	60	↓ -5	40
10	授業を通して生き方について考えることがある。(学びを生き方につなぐ)	72	-	28

平均 77 ↑ 8 23

生徒満足度 ⇒ 77%!!(8ポイントアップ)

前回に比較し、保護者・生徒とも肯定的な回答が増えています。しかし、前回からさらに下がった項目もあります。特に、生徒の教師への信頼感の低下は、大きな問題です。本校教職員の生徒への関わり方、教師としての姿勢や考え方も含め、見直しの必要があります。

(生徒の授業評価アンケート<2月実施> 学力標準調査<1月実施>)

全校平均	授業が分かりやすい	授業が分かりにくい	授業で力がつきた	授業で力がついていない
国語	86	14	61	39
社会	67	33	61	39
数学	83	17	61	39
理科	70	30	56	44
音楽	81	19	63	37
美術	81	19	55	45
保体	97	3	82	18
技術	56	44	38	62
家庭	68	32	57	43
英語	77	23	52	48
平均	77	23	59	41

標準学力調査(1月実施)結果 向上傾向!

1年	国語	社会	数学	理科	英語	5教科平均	実力テスト(9月実施) 5教科平均
本校平均	75.9	63.2	70.2	69	62.6	68.2	65.0
全国平均	73.5	63.1	66.5	60.4	63.5	65.4	65.6

2年	国語	社会	数学	理科	英語	5教科平均	5教科平均
本校平均	67.4	48.7	42	55.7	43.8	51.5	39.4
全国平均	69.5	55.9	61.5	62.5	60.4	62.0	51.1

全校で約8割の生徒が、「授業が分かりやすい」と回答しています。しかし、力がつきたと実感している生徒は、約6割にとどまっています。このギャップを解消すること(授業改善・指導工夫等)が、本校の学力を上げることにもつながります。また、「分かりにくい」と回答した生徒の心情や実態把握を行い、個別の課題に対応する指導の取組が必要です。

分かりやすさと力つきた実感のギャップ

学力調査の結果は、年度当初に比較し、1学年が全国平均を上回る大きな伸びを示しており、2学年も全国平均等との差が縮まっています。依然、大きな差がある数学・英語は、現在、習熟度少人数指導を行い、改善対策に取り組んでいます。